

# HP OpenView Service Information Portal

配置計画ガイド

バージョン 3.1

Windows® 2000、HP-UX、Solaris



i n v e n t

**Manufacturing Part Number: J4800-90012**

2003年3月

© Copyright 2003 Hewlett-Packard Company

© Copyright 2003 日本ヒューレット・パッカー株式会社

---

## ご注意

当社は、このマニュアルの正確性および目的への適合性を含め、内容に関して一切責任を負いません。また、当社は、このマニュアルの瑕疵、またはこのマニュアルの使用に関連して発生した直接的、間接的、特異的、偶発的または派生的な損害について責任を負いません。

### 使用権の制約

米国政府機関によるこのマニュアルの使用、複製、または公開は、DFARS 252.227-7013 「Rights in Technical Data and Computer Software」の条項 (c)(1)(ii) に準じます。

Hewlett-Packard Company  
3000 Hanover Street  
Palo Alto, CA 94304 U.S.A.

米国防総省 (DOD) 以外の米国政府機関の使用権は、FAR 52.227-19(c)(1,2) に準じます。

### Copyright Notices.

©Copyright 1983-2003 Hewlett-Packard Company, all rights reserved.

No part of this document may be copied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Hewlett-Packard Company. The information contained in this material is subject to change without notice.

### Trademark Notices.

Adobe® は、Adobe Systems Inc. の商標です。

HP 9000 コンピュータ用 HP-UX Release 11.00 以降 (32 ビットおよび 64 ビット構成) は Open Group UNIX 95 ブランド製品です。

Intel486 は、米国における Intel Corporation の商標です。

Java™ は、米国における Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Microsoft® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Netscape™ および Netscape Navigator™ は、米国における Netscape Communications Corporation の商標です。

OpenView® は、米国における Hewlett-Packard Company の登録商標です。

Oracle® は、米国における Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Reports™、Oracle7™、Oracle7 Server™ は、Oracle Corporation の商標です。

OSF/Motif® および Open Software Foundation® は、米国および他の国における Open Software Foundation , Inc. の商標です。

Pentium® は、米国における Intel Corporation の登録商標です。

SQL\*Net® および SQL\*Plus® は、米国における Oracle Corporation の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

Windows® 2000 は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows® および MS Windows® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## 出版履歴

マニュアルの出版の日付および部品番号は、現在の版を示します。出版の日付は、最新版ができるたびに変更します。内容の小さな変更に対しては、増刷の際に対応し、出版日の変更は行いません。マニュアルの部品番号は、改訂が行われるたびに変更します。

新版の作成は、記載内容の訂正またはドキュメント製品の変更にともなって行われます。お手元のマニュアルが最新のものか否かは、担当の営業に確認してください。

- 第1版 ..... 2003年3月

---

## 納入後の保証について

保証の期間は、ご購入時に当社よりお出しした見積書に記載された期間とします。保証サービスは、当社の定める休日を除く月曜日から金曜日までの、午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分の範囲で無料で行います。当社で定めたシステム製品については出張修理を行い、その他の製品については当社にご返却いただいた上での引取り修理となります。当社が定める地域以外における出張修理対象製品の修理は、保証期間中においても技術者派遣費が有料となります。

- ソフトウェア製品の保証は上記にかかわらず、下記に定める範囲とさせていただきます。
  - ソフトウェア製品およびマニュアルは当社が供給した媒体物の破損、資料の落丁およびプログラム・インストラクションが実行できない場合のみ保証いたします。
  - バグおよび前記以外の問題の解決は、別に締結するソフトウェア・サポート契約に基づいて実施されます。
- 次のような場合には、保証期間内でも修理が有料となります。
  - 取扱説明書等に記載されている保証対象外部品の故障の場合。
  - 当社が供給していないソフトウェア、ハードウェア、または補用品の使用による故障の場合。
  - お客様の不適当または不十分な保守による故障の場合。
  - 当社が認めていない改造、酷使、誤使用または誤操作による故障の場合。
  - 納入後の移設が不適切であったための故障または損傷の場合。
  - 指定外の電源（電圧、周波数）使用または電源の異常による故障の場合。
  - 当社が定めた設置場所基準に適合しない場所での使用、および設置場所の不適当な保守による故障の場合。
  - 火災、地震、風水害、落雷、騒動、暴動、戦争行為、放射能汚染、およびその他天災地変等の不可抗力的事故による故障の場合。
- 当社で取り扱う製品は、ご需要先の特定目的に関する整合性の保証はいたしかねます。また、そこから生じる直接的、間接的損害に対しても責任を負いかねます。
- 当社で取り扱う製品を組み込みあるいは転売される場合は、最終需要先における直接的、間接的損害に対しては責任を負いかねます。
- 製品の保守、修理用部品の供給期間は、その製品の製造中止後 5 年間とさせていただきます。

本製品の修理については取扱説明書に記載されている最寄の事業所へお問い合わせください。



## サポート

## 1. SIP 配置のロードマップ

|                   |    |
|-------------------|----|
| ロードマップの説明 .....   | 14 |
| ドキュメント リソース ..... | 16 |

## 2. SIP 配置計画の立案

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 計画の立案 .....                     | 18 |
| ポータル コンテンツ .....                | 19 |
| ワークシートと設問 .....                 | 19 |
| 次のステップ .....                    | 7  |
| ポータルのユーザーとロール .....             | 28 |
| 立案を開始する前に .....                 | 29 |
| 設問 .....                        | 32 |
| ワークシート .....                    | 33 |
| 次のステップ .....                    | 38 |
| 顧客ごとの管理データのセグメント化 .....         | 39 |
| 設問 .....                        | 40 |
| 次のステップ .....                    | 40 |
| 認証 .....                        | 41 |
| 設問 .....                        | 41 |
| ワークシート .....                    | 41 |
| 次のステップ .....                    | 43 |
| 分散環境、無線環境、非英語環境への SIP の統合 ..... | 44 |
| 分散環境 .....                      | 44 |
| 無線環境 .....                      | 44 |
| 非英語環境 .....                     | 45 |
| 次のステップ .....                    | 45 |





## 表記法

本書では次のような文字表記を使用しています。

| フォント          | 説明                    | 例  |
|---------------|-----------------------|--|
| 斜体            | 書籍名、マニュアル名、マンページ名     | 『 <i>OVW Developer's Guide</i> 』を参照してください。   |
|               | 強調                    | <b>必ず</b> 次のステップを実行してください。   |
|               | コマンド入力時にユーザーが指定する変数   | プロンプトで次のように入力します。<br><b>rlogin</b> <i>your_name</i><br><i>your_name</i> にはログイン名を指定します。 |
| 太字            | 用語集で説明されている用語         | このクラスの <b>識別属性</b> は、...   |
| コンピュータ文字      | コンピュータの画面に表示される文字列や項目 | Root マップ ウィンドウは、...<br>システムは Press Enter と応答します。                                       |
|               | コマンド名                 | grep コマンドを使用します。   |
|               | ファイル名とディレクトリ名         | /usr/bin/X11   |
|               | プロセス名                 | pmd が実行中かどうかチェックします。   |
|               | ウィンドウ名とダイアログ ボックス名    | [IP <b>インターネット</b> ] マップ ウィンドウで、...  |
| コンピュータ文字 + 太字 | ユーザーが入力する文字列          | プロンプトで、次のように入力します。<br><b>ovstatus</b>  |
| キーキャップ        | キーボードのキー              | <b>[Return]</b> を押します。   |
| [ ボタン ]       | ユーザー インタフェースのボタン      | [NET] をクリックします。次に、<br>[ <b>適用</b> ] ボタンをクリックします。                                       |

| フォント     | 説明  | 例                                      |
|----------|---|--|
| [メニュー項目] | メニュー名の後にコロン(:)がある場合、メニューを選択した後メニュー項目を選択することを示します。メニュー項目の後ろに矢印(->)がある場合は、カスケードメニューが表示されます。 | [編集]:[検索]->[Objects by Comment]を選択します。 |

---

## サポート

下記 HP OpenView ウェブサイトをご覧ください。

<http://openview.hp.com/>

ここにお問い合わせ先情報、HP Open View により提供される製品、サービス、サポートに関する詳細情報があります。

下記 HP OpenView eCare ウェブサイトも直接閲覧いただけます。

<http://openview.hp.com/>

eCare サポートサイトには次のものがあります。

- ダウンロードできるドキュメント
- トラブルシューティング情報
- パッチとアップデート
- 問題に関するレポート
- トレーニング情報
- サポートプログラム情報



---

# 1 SIP 配置のロードマップ

## ロードマップの説明

Service Information Portal (SIP) の設定、配置、使用については、次のロードマップによる方法を推奨します。ただし、これは数ある方法の一つにすぎません。繰り返し行う必要のある配置作業や使用するソフトウェアによっては、このロードマップを変更する必要もあります。

あらゆる統合に最適な方法で SIP を利用できるよう、ロードマップを柔軟なものにするために、各ステップが必須であるかオプションであるかを示します。

表 1-1 SIP 配置のロードマップ

| タスク                  | 必須/<br>オプション | マニュアル   |
|----------------------|--------------|---|
| 1. SIP のインストールと検証を行う | 必須           | 『SIP Installation Guide』  |
| 2. 以前のバージョンから移行する    | オプション        | 『SIP Installation Guide』  |
| 3. SIP の配置計画を立案する    | 必須           | 『SIP Deployment and Integration Guide』  |
| 4. 管理対象製品に SIP を接続する | 必須           | 『SIP Deployment and Integration Guide』<br>それぞれの管理製品の統合について説明しているマニュアルを参照してください (16 ページの「ドキュメントリソース」を参照)。                      |
| 5. ユーザーとロールを設定する     | 必須           | 『SIP Deployment and Integration Guide』  |
| 6. ポータル ビューをカスタマイズする | オプション        | 『SIP Deployment and Integration Guide』  |
| 7. ポータル コンテンツを作成する   | オプション        | 『SIP Deployment and Integration Guide』<br>デフォルトのモジュール構成を変更するには、それぞれの管理製品の統合について説明しているマニュアルを参照してください (16 ページの「ドキュメントリソース」を参照)。 |

表 1-1 SIP 配置のロードマップ ( 続き )

| タスク                           | 必須 / オプション | マニュアル  |
|-------------------------------|------------|--|
| 8. 顧客組織に基づいてデータをセグメント化する      | オプション      | 『 <i>SIP Deployment and Integration Guide</i> 』<br>顧客モデルソースの構成は、管理製品によって異なります。それぞれの管理製品の統合について説明しているマニュアルを参照してください (16 ページの「ドキュメントリソース」を参照)。 |
| 9. 認証を設定する                    | 必須         | 『 <i>SIP Deployment and Integration Guide</i> 』  |
| 10. SIP を分散環境、無線環境、非英語環境に統合する | オプション      | 『 <i>SIP Deployment and Integration Guide</i> 』<br>英語以外の環境では個々のモジュール構成が異なります。各管理製品の統合については SIP マニュアルを参照してください (16 ページの「ドキュメントリソース」を参照)。      |

## ドキュメントリソース

印刷可能なオンラインドキュメントが提供されています。次の表に挙げた印刷可能なドキュメントは、SIP をインストールすると利用できるようになります。ドキュメントファイルはすべて、次のディレクトリの下にある各製品のディレクトリに保存されています。

Windows 2000: %SIP\_HOME%\htdocs\C\manuals\  
                  %SIP\_HOME%\htdocs\ja\manuals\

UNIX:            /opt/OV/SIP/htdocs/C/manuals/  
                  /opt/OV/SIP/htdocs/ja/manuals/

表 1-2 HP OpenView Service Information Portal ドキュメント

| ドキュメント名  | ファイル名                          |
|--|--------------------------------|
| 『SIP Installation Guide』                         | SIP_Install_Guide.pdf          |
| 『SIP Deployment and Integration Guide』           | SIP_Deployment_Integration.pdf |
| 『NNM Integration with SIP』                       | NNM_Integration.pdf            |
| 『OVO and Service Navigator Integration with SIP』 | OVO_OVSN_Integration.pdf       |
| 『OVIS Integration with SIP』                      | OVIS_Integration.pdf           |
| 『OV Reporter Integration with SIP』               | OVR_Integration.pdf            |
| 『OV Service Desk Integration with SIP』           | OVSD_Integration.pdf           |
| 『OV Performance Insight Integration with SIP』    | OVPI_Integration.pdf           |



---

## 2 SIP 配置計画の立案

## 計画の立案

次の設問とワークシートを使用して、カスタム ポータルの作成と SIP の統合に必要な情報を収集してください。この情報収集プロセスは、ロードマップの全タスクをカバーしています。ただし、次に示すようにロードマップとは若干、順番が異なります。

- ポータル コンテンツ
- ポータルのユーザーとロール
- 顧客ごとの管理データのセグメント化
- 認証
- 分散環境、無線環境、非英語環境への SIP の統合

各項の末尾に「次のステップ」をまとめてあります。立案プロセスをすべて完了したら、このステップに従って SIP の配置と統合を開始してください。

---

## ポータル コンテンツ

立案プロセスの最初のステップは、SIP で表示するデータを決定することです。

- SIP の持つ HP OpenView 統合機能により得られた、他の HP OpenView 製品のコンテンツ
- ブックマークへのリンク、メッセージ ボードを通じて顧客に表示するメッセージなど、一般的なコンテンツ
- SIP の汎用モジュールを使用して開発されたサードパーティ製モジュールの統合 ( 寄稿されたもの、サポート対象外 ) により得られるコンテンツ
- ユーザー独自のアプリケーションおよびデータのコンテンツ

## ワークシートと設問

表示するコンテンツに関して SIP を設定するにあたり、次の設問について検討し、表 2-1、表 2-2、表 2-3、表 2-4 のワークシートに記入することをお勧めします。

ワークシート全体に目を通して、どのモジュールを使用するかを明確にします。ワークシートには次の情報が含まれています。

- SIP で表示できるコンテンツ タイプに関する説明
- 各種コンテンツを表示する SIP モジュールの名前
- データの生成元となる管理製品

## HP OpenView 統合によるコンテンツ

表 2-1 について、次の設問を検討してください。

- どのような情報を顧客に配信 / 表示するのか。
- どの HP OpenView 管理製品を SIP に統合するのか。
- SIP の提供する HP OpenView 統合のうち、どれが希望するコンテンツを生成するのか。

表 2-1 HP OpenView 統合によるコンテンツ

| SIP で表示する<br>コンテンツ タイプ  | SIP モジュール       | HP OpenView<br>管理製品   | 使用する /<br>使用しない |
|---|-----------------|---|-----------------|
| NNM 内の 1 つまたは複数のアラーム カテゴリから収集したアラーム メッセージ。  | アラーム            | Network Node Manager  | _____           |
| 1 つまたは複数の NNM マップから収集したサブマップ。希望するサブマップを SIP で表示するには、あらかじめ各マップを NNM 管理ステーションで開いておく必要があります。NNM サブマップの階層に基づいたドリルダウンも可能です。  | トポロジ マップ        | Network Node Manager  | _____           |
| ネットワーク デバイスの状態を表示するゲージ。顧客はネットワークのパフォーマンスを一目で監視できます。   | ネットワーク デバイス ヘルス | Network Node Manager  | _____           |
| 次に挙げる OVO メッセージ データベースの情報。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 つまたは複数のメッセージ カテゴリ内で、受信数の多いメッセージのタイプや数に関するリスト</li> <li>特定のカテゴリ内で受信したメッセージの完全なリスト</li> <li>特定のメッセージに関して入手した全情報</li> </ul> | OVO メッセージ       | HP OpenView Operations for UNIX<br>HP OpenView Operations for Windows | _____           |
| サービスの表。OVSN で設定されている場合は、アクション、伝達規則、計算規則などの詳細情報にドリルダウンできます。  | サービス ブラウザ       | HP OpenView Service Navigator   | _____           |

表 2-1 HP OpenView 統合によるコンテンツ ( 続き )

| SIP で表示する<br>コンテンツ タイプ   | SIP モジュール                       | HP OpenView<br>管理製品              | 使用する /<br>使用しない |
|--|---------------------------------|----------------------------------|-----------------|
| サービスのカード型ビュー。<br>OVSN で設定されている場合<br>は、アクション、伝達規則、計<br>算規則などの詳細情報にドリル<br>ダウンできます。   | サービス カード                        | HP OpenView<br>Service Navigator | _____           |
| 特定のサービスに関する OVSN<br>設定の階層構造ビュー。  | サービス グラフ                        | HP OpenView<br>Service Navigator | _____           |
| 関連するサービス全体のステー<br>タスに関するゲージ状の<br>ビュー。OVSN で設定されてい<br>る場合は、アクション、伝達規<br>則、計算規則などの詳細情報に<br>ドリルダウンできます。                       | サービス ヘルス                        | HP OpenView<br>Service Navigator | _____           |
| Service Navigator データのカス<br>タム表示。  | 新規作成モジュー<br>ル ( カスタム サー<br>ビス ) | HP OpenView<br>Service Navigator | _____           |
| OVIS が収集した情報を表示す<br>る ゲージ、図、グラフのセッ<br>ト。情報は、HTTP、HTTPS、<br>DNS、SMTP、POP3 といった標<br>準的なインターネットサービスを<br>監視することによって収集さ<br>れます。 | インターネット<br>サービス                 | HP OpenView<br>Internet Services | _____           |
| Service Desk のエンドユーザー<br>がサービス コールを発行、表<br>示、修正する機能。   | Service Desk                    | HP OpenView<br>Service Desk      | _____           |

表 2-1 HP OpenView 統合によるコンテンツ ( 続き )

| SIP で表示する<br>コンテンツ タイプ  | SIP モジュール  | HP OpenView<br>管理製品             | 使用する /<br>使用しない |
|---|--|---------------------------------|-----------------|
| Service Desk の担当者が、インシデント、問題、変更、作業手順を表示および修正する機能。さらに担当者は、サービス コールの発行、表示、修正を行うこともできます。             | Service Desk for Specialists                                 | HP OpenView Service Desk        | _____           |
| HP OpenView Operations と HP OpenView Service Navigator から情報を収集した後、HP OpenView Reporter が生成したレポート。 | OVO レポート   | HP OpenView Reporter            | _____           |
| NNM から情報を収集した後、HP OpenView Reporter が生成したレポート。  | NNM レポート   | HP OpenView Reporter            | _____           |
| HP OpenView Performance から収集した情報を元に HP OpenView Reporter が生成したレポート。                               | OV Performance レポート  | HP OpenView Reporter            | _____           |
| Performance Insight Web アクセスサーバー向けに構成配置されている HP OpenView Performance Insight が生成したレポート。           | Performance Insight モジュールと Performance Insight Browser モジュール | HP OpenView Performance Insight | _____           |

## 一般的なコンテンツ

表 2-2 について、次の設問を検討してください。

- ブックマーク モジュールを使用して、有用な Web サイトへのリンクを顧客に提供するかどうか。
- 顧客とのコミュニケーションを図るために SIP メッセージ ボード を利用するかどうか。

表 2-2 一般的なコンテンツ

| SIP で表示する<br>コンテンツ タイプ              | 使用するモジュール   | 使用する /<br>使用しない |
|-------------------------------------|---|-----------------|
| URL へのリンク                           | ブックマーク<br>URL:<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____      | _____           |
| 顧客へ送信するメッセージ<br>(告知、今日のメッセージ<br>など) | メッセージ ボード<br>メッセージ:<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____ | _____           |

### 寄稿モジュールの統合 ( サポート外 ) によるコンテンツ

表 2-3 について、次の設問を検討してください。

- SIP に統合された、サポート外の寄稿モジュールのうち、どのモジュールのコンテンツをユーザーに表示するのか ( これらのモジュールの中には、プロキシや顧客のセグメント化をサポートしていないなどの制限を持つものもあります )。

表 2-3 寄稿モジュールの統合 ( サポート外 ) によるコンテンツ

| SIP で表示するコンテンツ タイプ  | 統合モジュール          | 使用する / 使用しない |
|---|------------------|--------------|
| Concord Net Health Web UI のビュー。                                   | Concord          | _____        |
| Crystal Enterprise Web UI のビュー。                                   | Crystal          | _____        |
| Keynote Web サイトのビュー。  | Keynote          | _____        |
|   |                  |              |
| Cisco Discovery Protocol で見つかったネットワークの NNM 6.2 によるビュー。            | NNM_CDP          | _____        |
| NNM 6.2 Command Results のビュー。                                     | NNM_Commands     | _____        |
| NNM 6.2 Node Details のビュー。  | NNM_NodeDetails  | _____        |
| NNM 6.2 Node View のビュー。   | NNM_NodeView     | _____        |
| NNM 6.31 Node View のビュー。  | NNM6_31 NodeView | _____        |
| ブラウザが NNM サーバーに直接アクセスする必要があるように SIP サーバーがプロキシになっている、NNM レポートのビュー。 | NNM_Reports      | _____        |
| NNM 6.2 Show Path のビュー。   | NNM_ShowPath     | _____        |
| NNM Web Applications のビュー。  | NNM_Web          | _____        |
| Opticom iView レポートのビュー。   | Opticom          | _____        |
| HP OpenView Problem Diagnosis 1.0 のビュー。                           | ProblemDiagnosis | _____        |



表 2-3 寄稿モジュールの統合 ( サポート外 ) によるコンテンツ ( 続き )

| SIP で表示するコンテンツ タイプ   | 統合モジュール         | 使用する / 使用しない |
|--|-----------------|--------------|
| Apache Web サーバーがプロキシになっている、Remedy ARWeb 4.x インタフェースのビュー。   | Remedy          | _____        |
| Service Desk 3 のエンドユーザーが現在のサービスチケットを表示、修正する機能。さらにエンドユーザーは、特定のチケットの情報をドリルダウンしたり、新しいチケットを発行したりもできます。 | ServiceDesk3    | _____        |
| VantagePoint Reporter のレポートのビュー。   | VP_Reporter     | _____        |
| WebTrends のレポートのビュー。   | WebTrends       | _____        |
| Yahoo Headlines のビュー。My Yahoo! のアカウントを取得しているユーザーは、各自のビューを表示できます。                                   | Yahoo_Headlines | _____        |

### アプリケーションやデータの統合によるコンテンツ

表 2-4 について、次の設問を検討してください。

- SIP がサポートするコンテンツ以外に、どのようなコンテンツをユーザーに提供するのか。
  - コンテンツを URL から表示するかどうか。たとえば、別のサーバー上の HTML ファイルや、CGI プログラム、Web アプリケーションなどがある場合、その URL のコンテンツを表示できます。
  - 実行可能コマンドの出力を表示するかどうか。たとえば、ping などのコマンドや、データベースからなんらかの結果を生成するコマンドを実行し、その出力をポータルで表示することができます。
  - 外部ファイルの HTML を表示するかどうか。たとえば、ローカルマシンに HTML ファイルのレポートがある場合やテキスト形式でレポートを生成するツールがある場合などに、それらのレポートをポータルで表示できます。
  - XSLT を使用して XML を表示可能な形式に変換するかどうか。
  - 埋め込み HTML を表示するかどうか。たとえば、GIF イメージの形式でレポートを生成するツールがある場合、そのレポートを SIP で表示できます。

表 2-4 アプリケーションやデータの統合によるコンテンツ

| 開発する統合モジュール        | 新しいモジュールのエントリ |
|--------------------|---------------|
| 新しいモジュール：<br>_____ | _____         |
| 新しいモジュール：<br>_____ | _____         |
| 新しいモジュール：<br>_____ | _____         |

## 次のステップ

立案を続行します。以下の作業が終了したら、先へ進んでください。

- お使いの管理製品に SIP を接続し、HP OpenView 統合によるコンテンツを表示する (ロードマップのタスク 4)。その後、必要に応じてデフォルトのモジュールを設定する (ロードマップのタスク 7)。
- ブックマークとメッセージボードのメッセージを作成し、SIP で一般的なコンテンツを表示する (ロードマップのタスク 7、「ポータル コンテンツを作成する」)。
- 寄稿モジュールを SIP に登録し、寄稿モジュール (サポート外) の統合によるコンテンツを表示する (ロードマップのタスク 7、「ポータル コンテンツを作成する」)。
- 独自のモジュールを開発して、アプリケーションやデータの統合によるコンテンツを表示する (ロードマップのタスク 7、「ポータル コンテンツを作成する」)。

---

## ポータルユーザーとロール

立案プロセスの2番目のステップとして、どのユーザーにデータを表示するのかを確認し、そのユーザーに SIP の認証を与える方法を説明します。

SIP では、ユーザー ロール モデルと呼ばれる認証モデルを使用します。アクセス権はロールに関連付けられています。**ロール**は、ある時点でユーザーがポータルで表示できる内容や実行できる操作を定義します。ユーザーとロールを関連付け、ロールに属するユーザーが表示、実行できることをそのロールに割り当てることで、ポータルのセキュリティを確保できます。

基本的なロールは4つのパーツで構成されており、そのうち3つが必須項目です。

- **ポータル ビュー** (必須)

ポータル ビューは、ユーザーに対して表示するものです。ポータル ビューでは、モジュールと、そのモジュールがタブにどのように表示されるかが設定されます。また、ポータル ビューの属性の設定も含まれており、ボタバーに表示される名前、ポータル スキン、更新間隔、デフォルトのタブ、ポータルのヘッダー/フッターなどがあります。

サンプルのポータル ビューが用意されていますので、それらを参照することができます。ただし、参照元のポータル ビューに変更を加えても、そのビューを元に作成されたポータル ビューに変更内容が自動的に反映されるわけではありません。

- **編集パーミッション レベル** (必須)

編集パーミッション レベルは、ポータル インタフェースを使用してユーザーが実行できる対話型の編集操作を定義します。編集パーミッションの各レベルには、下位のレベルで定義されている全操作と、その他の追加操作が含まれます。レベルには **ReadOnly**、**UserPreferences**、**ViewAdmin** の3つがあります。

- **管理データ フィルタ** (必須)

管理データとは、サービス、ノード、インタフェース、サーバーなどのポータルで表示するリソースに関する情報を指します。

SIP では、フィルタ定義とロールを明示的に関連付けて、管理データのフィルタ処理をロールレベルで行う必要があります。ロールごとにフィルタ処理することで、データのセキュリティを確保できます。これにより、各ユーザーに対して関連するデータだけを確実に表示することが可能になります。

管理データのフィルタ処理には3つの基本的な選択肢が用意されています。

- AllData フィルタを使用すると、関連付けられているロールのユーザーは、管理ステーションの全データを表示できます。
- NoData フィルタを使用すると、関連付けられているロールのユーザーは、管理ステーションのデータを表示できなくなります。
- SIP 顧客モデルから1つまたは複数の組織を特定する管理データ フィルタを使用します。SIP 顧客モデルは、組織とその組織のリソース(ノード、インタフェース、サービス)のマップです。特定の組織に関連付けられたデータだけが表示されるため、この方法を使用すれば顧客データをセグメント化できます。

#### • **ロール プロパティの拡張リスト (オプション)**

ロール プロパティを使用すると、次のことが可能です。

- SIP のシンプルな顧客モデルとは別に独自の顧客モデルを持つ管理製品の、顧客ごとにセグメント化されたデータを表示する。
- バックエンドの管理アプリケーションへのログインで、シングルサインオンソリューションとして利用する。このソリューションは、汎用モジュールなどのモジュールで使用されています。

## 立案を開始する前に

ユーザー ロール モデルとその機能についてよく理解するために、31 ページの図 2-1 を参照してください。この図は、SIP のユーザー、ロール、ビューのサンプルです。この図から次のことが分かります。

- ユーザーは複数のロールに割り当てることができる。
- ロールでは、ポータル ビュー、編集パーミッション レベル、管理データ、ロール プロパティ (オプション) が定義されている。
- ポータル ビューは基本的にタブとモジュールの集合である。

図を確認したら、左の列にリストされているユーザーとして SIP にログインします。SIP インタフェースでロールやタブを切り替え、図の設定と SIP インタフェースで実際に表示される内容を比べます。SIP インタフェースで確認したら、32 ページの「設問」に進んでください。

## SIP 配置計画の立案

### ポータルユーザーとロール

#### SIP の起動

- ブラウザ ウィンドウを開き、URL を入力して SIP を起動します。

**`http://yourhostname/ovportal`**

---

**注記**      *Windows の場合:* 以下のようにメニューを選択して SIP を起動することもできます。

[ スタート ]:[ プログラム ]->[HP OpenView]->[Service Information Portal]->[Service Information Portal]

---

---

**注記**      *UNIX の場合:* SIP Web サーバーを 80 以外のポートに構成した場合は、次の URL を使用してください。「*port*」は、SIP の Web サーバーに構成されたポートの番号です。

**`http://yourhostname:port/ovportal`**

SIP をセキュアな Web サーバーで使用している場合は、SIP にアクセスする URL は次のようになります。

**`https://yourhostname:port/ovportal`**

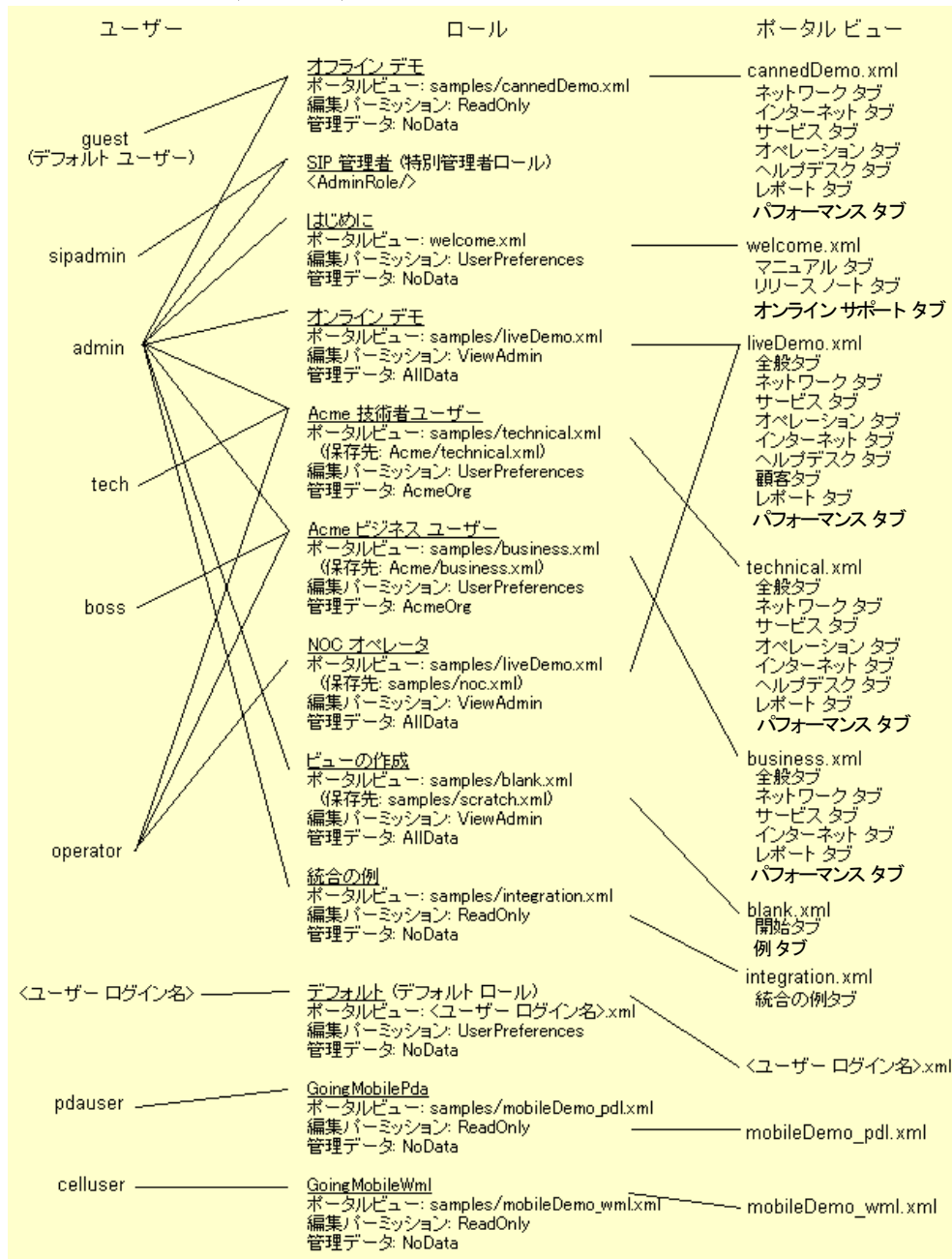
---

---

**注記**      SIP を管理製品に接続するまでの間、モジュールに「Currently Not Configured」というメッセージが表示されます。

---

図 2-1 SIP のユーザー、ロール、ビューのサンプル



#### 設問

- ポータルを使用するのは誰か。顧客ユーザーなのか、企業内組織のユーザーなのか。また、ビジネスユーザー、技術者ユーザー、あるいはNOCユーザーなのか。
- ビジネスユーザー、技術者ユーザー、NOCユーザーなどのユーザーグループによって、表示するコンテンツを分類できるかどうか。ビジネスユーザーには表示して技術者ユーザーには表示しないといったモジュールがあるかどうか。たとえば、ビジネスユーザーがより関心を持つのはレポートモジュールです。一方、技術者ユーザーはネットワークやサービスのヘルスの詳細を表示するモジュールに関心を持ちます。
- 各ユーザーのロールを明確に分類できるかどうか。たとえば、オペレータのロール、顧客ABCの管理者のロール、技術者ユーザーのロール、ビジネスユーザーのロールなどが考えられます。
- 他の顧客のポータルビューにモジュールを追加/設定できるような管理者特権を、特定の顧客に与えるかどうか。
- 一部またはすべてのユーザーでデフォルトのロールを使用するかどうか。使用する場合は、それぞれのユーザーエントリを明示的に設定しないでください。代わりに、ログイン用のポータルビューファイルを個別に設定します。
- 限られたポータルにのみアクセスできる「デフォルトユーザー」を利用するかどうか。デフォルトユーザーを使用すると、たとえば、ビジターにSIPの参照を許可しながら実際の管理データを表示しないようにしたり、編集処理を許可したりすることもできます。
- 各ユーザーが表示できる内容や実行できる操作を、可能な限り柔軟に定義できるようにするかどうか。その場合、ログイン成功時のユーザー設定とユーザーロールモデルの初期ロール設定が必要になります。
- ユーザーやロールの論理グループを1つのエンティティとして管理するかどうか。たとえば、1つの顧客組織に関連するすべてのユーザー、ロール、管理データを含むユーザーロールパッケージを作成できます。
- 各ロールごとにどのモジュールを表示するのか。モジュールが表示されるタブの名前は何にしますか、また各タブをどのように編成しますか。
- ポータルビューでの作業開始時にサンプルのポータルビューを使用できるようにするかどうか(31ページの図2-1を参照してください)。
- 独自のグラフィックイメージをポータルのバナーやフッタに使用して、ポータルのルックアンドフィールをカスタマイズするかどうか。



- ポータルのルック アンド フィールを各顧客ごとに変更するかどうか。
- デフォルトのポータル スキン ( カラー スキームやフォント ) で不足がないかどうか、あるいはカスタム ポータル スキンを作成するかどうか。ポータル スキンは、SIP のボタン バーの [ オプション ] で変更できます。

## ワークシート

次のワークシートは、ある顧客 ( ユーザーは 3 人 ) のユーザー ロールを設定するためのものです。34 ページの表 2-5、36 ページの表 2-6 を参考にして、ユーザー ロール設定を作成します。

---

### 注記

顧客モデルを作成する作業 ( ロードマップのタスク 8 ) が完了するまでは、ロールの**管理データ**と**プロパティ**を定義することはできません。ただし、その間、デフォルトの管理データ フィルタである AllData や NoData を使用できます。**プロパティ**は空欄のままにします。

---



表 2-5 ワークシート：ユーザー ロール設定

顧客：\_\_\_\_\_ ( 続き )

| ユーザー           | ユーザーに関連付けるロール   | ロールに関連付けるポータルビュー  |
|----------------|---|---|
| ユーザー：<br>_____ | ロール： _____<br>ポータル ビュー： _____<br>保存先： _____<br>編集パーミッション： _____<br>管理データ： _____<br><br>プロパティ：<br>名前 = _____ 値 = _____<br>名前 = _____ 値 = _____<br>名前 = _____ 値 = _____<br>名前 = _____ 値 = _____ | ポータル ビュー：<br>_____ .xml<br>タブ： _____<br>モジュール： _____<br>_____<br>タブ： _____<br>モジュール： _____<br>_____<br>タブ： _____<br>モジュール： _____<br>_____ |
| ユーザー：<br>_____ | ロール： _____<br>ポータル ビュー： _____<br>保存先： _____<br>編集パーミッション： _____<br>管理データ： _____<br><br>プロパティ：<br>名前 = _____ 値 = _____<br>名前 = _____ 値 = _____<br>名前 = _____ 値 = _____<br>名前 = _____ 値 = _____ | ポータル ビュー：<br>_____ .xml<br>タブ： _____<br>モジュール： _____<br>_____<br>タブ： _____<br>モジュール： _____<br>_____<br>タブ： _____<br>モジュール： _____<br>_____ |

表 2-6 ユーザー ロール設定のサンプル 顧客：BestCorp 社

| ユーザー                        | ユーザーに関連付けるロール  | ロールに関連付けるポータル ビュー  |
|-----------------------------|--|--|
| <p><b>adminBestCorp</b></p> | <p><b>BestCorp 管理者</b></p> <p>ポータルビュー：<br/>                 samples/customeradmin.xml<br/>                 保存先：BestCorp/customeradmin.xml</p> <p>編集パーミッション：ViewAdmin<br/>                 管理データ：BestCorpOrg</p> <p>プロパティ：<br/>                 VPIS.server=aa.bbb.com<br/>                 VPIS.customer=BC<br/>                 VPIS.password=bcuser</p> <p>ServiceDesk.SSPserver=xx.yyy.com<br/>                 ServiceDesk.userName=BC<br/>                 ServiceDesk.password=bcSD<br/>                 ServiceDesk.virtualDirectory=sd-sd4</p> <p>OVPI.server=jj.kkk.com<br/>                 OVPI.userName=BC<br/>                 OVPI.password=bcpi</p> <p>-----</p> <p><b>ビューの作成</b></p> <p>ポータルビュー：samples/blank.xml<br/>                 保存先：BestCorp/scratch.xml</p> <p>編集パーミッション：ViewAdmin<br/>                 管理データ：BestCorpOrg</p> <p>-----</p> <p><b>BestCorp 技術者</b></p> <p>-----</p> <p><b>BestCorp ビジネス</b></p> | <p><b>customeradmin.xml</b></p> <p>全般タブ：ブックマーク、およびメッセージボード モジュール</p> <p>カスタマ タブ：ユーザ役割情報および管理リソース モジュール</p> <p>-----</p> <p><b>blank.xml</b></p> <p>スタート タブ：モジュールなし</p> <p>-----</p> <p>-----</p> |

表 2-6 ユーザー ロール設定のサンプル 顧客：BestCorp 社 ( 続き )

| ユーザー               | ユーザーに関連付けるロール  | ロールに関連付けるポータル ビュー  |
|--------------------|--|--|
| <p><b>tech</b></p> | <p><b>BestCorp 技術者</b></p> <p>ポータルビュー : samples/technical.xml<br/>保存先 : BestCorp/technical.xml</p> <p>編集パーミッション : UserPreferences</p> <p>管理データ : BestCorpIT</p> <p>プロパティ :</p> <p>VPIS.server=aa.bbb.com<br/>VPIS.customer=BC<br/>VPIS.password=bcuser</p> <p>ServiceDesk.SSPserver=xx.yyy.com<br/>ServiceDesk.userName=BC<br/>ServiceDesk.password=bcSD<br/>ServiceDesk.virtualDirectory=sd-sd4</p> <p>OVPI.server=jj.kkk.com<br/>OVPI.userName=BC<br/>OVPI.password=bcpi</p> | <p><b>technical.xml</b></p> <p>全般タブ : ブックマーク、メッセージ ボード、および管理リソース モジュール</p> <p>ネットワーク タブ : ネットワーク デバイス ヘルス、アラーム、およびトポロジモジュール</p> <p>サービス タブ : サービス カード、サービス ヘルス、サービス ブラウザ、およびサービス グラフ モジュール</p> <p>オペレーション タブ : OVO<br/>メッセージ モジュール</p> <p>インターネット タブ : インターネット サービス モジュール</p> <p>ヘルプデスク タブ : Service Desk for Specialists モジュール</p> <p>レポート タブ : OV Performance レポート モジュール</p> <p>パフォーマンス タブ : OV Performance Insight ブラウザ モジュール</p> |

表 2-6 ユーザー ロール設定のサンプル 顧客：BestCorp 社 ( 続き )

| ユーザー | ユーザーに関連付けるロール  | ロールに関連付けるポータルビュー  |
|------|--|---|
| boss | <b>BestCorpBusiness</b><br>ポータルビュー：samples/business.xml<br>保存先：BestCorp/business.xml<br>編集パーミッション：UserPreferences<br>管理データ：BestCorpMgmt<br>プロパティ：<br>VPIS.server=aa.bbb.com<br>VPIS.customer=BC<br>VPIS.password=bcuser<br>ServiceDesk.SSPserver=xx.yyy.com<br>ServiceDesk.userName=BC<br>ServiceDesk.password=bcSD<br>ServiceDesk.virtualDirectory=sd-sd4<br>OVPI.server=jj.kkk.com<br>OVPI.userName=BC<br>OVPI.password=bcpi | <b>business.xml</b><br>全般タブ：ブックマークおよびメッセージボード モジュール<br>ネットワーク タブ：ネットワーク デバイス ヘルスおよびトポロジ モジュール<br>サービス タブ：サービス カード、サービス ヘルス、サービス ブラウザ、およびサービス グラフ モジュール<br>インターネット タブ：インターネット サービス モジュール<br>レポート タブ：OV Performance レポート モジュール<br>パフォーマンス タブ：OV Performance Insight モジュール |

## 次のステップ

立案を続行します。以下の作業が終了したら、先へ進んでください。

- SIP 設定エディタを使用してユーザーとロールを作成し、ユーザー ロール モデルを設定する (ロードマップのタスク 5)。
- ポータル ビューを変更して、ポータルのルック アンド フィールドをカスタマイズする (ロードマップのタスク 6)。

## 顧客ごとの管理データのセグメント化

立案プロセスの3つ目のステップでは、顧客と、顧客に関連する管理データをどのように表示するかについて検討します。これには、顧客とリソースのマッピングが含まれます。

顧客組織に基づいてデータをセグメント化するには、顧客モデルを使用します。つまり、顧客組織とリソースをマッピングします。表 2-7 に、SIP 顧客モデルを使用するモジュール、独自の顧客モデルを使用するモジュール、データのフィルタ処理を行わないモジュールを示します。

**表 2-7 各モジュールで使用する顧客モデル**

| 管理ソフトウェア /<br>モジュール                       | SIP 顧客<br>モデルを使用する | 独自の顧客<br>モデルを使用する | 管理データの<br>フィルタ処理を<br>行わない |
|---|--------------------|-------------------|---------------------------|
| NNM: アラーム、トポロジマップ、およびネットワーク デバイスヘルス モジュール | X                  |                   |                           |
| OVIS: インターネット サービスモジュール                   |                    | X                 |                           |
| OV Reporter モジュール                         | X                  |                   |                           |
| OVO/OVSN モジュール                            | X                  |                   |                           |
| OVSD モジュール                                |                    | X                 |                           |
| OVPI モジュール                                |                    | X                 |                           |
| メッセージボードモジュール                             |                    |                   | X                         |
| ブックマークモジュール                               |                    |                   | X                         |

## 設問

顧客組織に基づいてセグメント化された管理データを SIP で表示する準備として、次の設問について検討してください。

- Customer Views for NNM を使用している場合、セグメント化した NNM データを SIP で表示するために、Customer Views で設定した顧客モデルを使用するかどうか。
- Customer Views for NNM を使用していない場合でも、セグメント化した NNM データを SIP で表示するかどうか。リソース データを NNM オブジェクト データベースから取得する顧客モデル ソースを作成したり、リソースを組織にマッピングする顧客モデル ソースを作成したりできます。
- NNM データの他に、ノードやインタフェースごとにセグメント化したいデータがあるかどうか。
- HP OpenView Service Navigator の、顧客ごとにセグメント化されたサービス情報を表示するかどうか。表示する場合は、顧客からサービスへのマッピングを含む顧客モデル ソース (XML ファイル) を設定する必要があります。
- HP OpenView Internet Services や HP OpenView Service Desk などの、独自の顧客モデルを持つ製品のデータを表示するかどうか。
- 顧客ごとにセグメント化された NNM レポートを表示するかどうか。OV Performance レポートを表示するかどうか。どちらのレポートも、SIP 顧客モデルを各製品にエクスポートすることにより、OV Reporter から生成されます。
- SIP にインポートしたい、他の製品やデータベースの顧客モデル データがあるかどうか。ある場合は、独自の顧客モデル データソースを作成する必要があります。
- SIP の顧客モデルをエクスポートしたい製品やデータベースがあるかどうか (エクスポートすると、その製品で SIP 顧客モデルに基づいたデータのセグメント化が可能になります)。

## 次のステップ

立案を続行します。以下の作業が終了したら、先へ進んでください。

- 顧客モデル ソースを開発して SIP に登録し、SIP 顧客モデルを設定する (ロードマップのタスク 8)。この作業は個々の管理製品によって異なりますので、それぞれの管理製品について説明している SIP マニュアルを参照してください。
- SIP 顧客モデルを、付属の CGI プログラムやサブレットを使用して NNM や OV Reporter にエクスポートする。エクスポート先を SIP に登録する (ロードマップのタスク 8)。



---

## 認証

立案プロセスの4つ目のステップでは、SIP ユーザーの認証に使用されるメカニズムについて検討します。認証とは、システムがユーザーを識別、許可するプロセスです。

SIP には複数の認証方法が用意されており、その中から選択することができます。それらの認証方法が要件を満たさない場合は、カスタム認証方法を開発して統合できます。SIP は、SIP に統合するための Java クラス作成用 API とサンプルコードを用意しています。

## 設問

認証方法を設定する準備として、次の設問について検討し、ワークシートに記入することをお勧めします。

- SIP の認証を使用するのか、それとも外部のメカニズムを使用してユーザー認証を行うのか。外部のメカニズムは、ユーザーが認証されていたかどうかについて SIP と通信します。
- ポータルのユーザーは、単一のプログラムとして SIP にログイン/ログアウトするのか、あるいは他のプログラムから SIP を実行するのか。
- 認証を実行するコードをポータルに統合するのか、認証の役割を他のプログラム、システム、またはサーバーにリダイレクトするのか。
- SIP が提供する認証方法を使用するかどうか (42 ページの表 2-8 を参照してください)。
- SIP の認証方法が要件を満たさない場合に、独自の認証方法を開発するかどうか。

## ワークシート

次のワークシートでは、SIP の各認証方法について説明しています。ワークシート全体に目を通して、どの認証方法を使用するかを明確にします。SIP サーバー 1 台につき、認証方法を 1 つだけ使用できます。

表 2-8 SIP が提供する認証方法

| SIP が提供する<br>認証方法 | 説明   | 使用する /<br>使用しない |
|-------------------|--|-----------------|
| Null 認証           | 認証は行われず、ユーザー名も不要です。ポータルにアクセスするユーザーのユーザー名はすべて「anyuser」になります。  | _____           |
| パスワードなしの<br>認証    | これがデフォルトの認証方法です。必要なのはユーザー名だけです。ユーザー名はユーザーロールモデルのユーザー名と一致する必要があります(デフォルトユーザーなどのデフォルト処理メカニズムを使用しない限り、認証処理は行われません)。この方法は、さまざまなユーザー用のポータルビューを設定してテストする場合に便利です。 | _____           |
| パスワードファイル<br>認証   | ユーザー名とパスワードが必要です。パスワードは、UNIX の crypt (3) を使用して暗号化された状態で保存されます。入力したパスワードは暗号化され、保存されているパスワードと比較されます。   | _____           |
| LDAP 認証           | ユーザー名とパスワードが必要です。SIP は、LDAP サーバーに接続してユーザー名とパスワードが認証可能かどうかを調べ、LDAP サーバーとの接続を切断します。  | _____           |
| Web サーバー認証        | ユーザーが Web サーバーとブラウザで認証されていれば、ユーザー名とパスワードは必要ありません。  | _____           |
| NNM SSO 認証        | ユーザーが NNM Session Manager の Web ログインメカニズムで認証されていれば、ユーザー名とパスワードは必要ありません。<br><br>この認証方法を使用するには、SIP と同じホストで NNM が実行されている必要があります。                              | _____           |

## 次のステップ

立案を続行します。以下の作業が終了したら、先へ進んでください。

- SIP が提供する認証方法のいずれかを SIP に登録して使用する (ロードマップのタスク 9)。
- カスタム認証方法を開発して SIP に登録する (ロードマップのタスク 9)。

## 分散環境、無線環境、非英語環境への SIP の統合

立案プロセスの最後のステップは、SIP を分散環境、無線環境、非英語環境のいずれかに統合するかどうかを確認することです。

### 分散環境

HTTP や HTTPS を使用すると、SIP 設定を複数の SIP サーバーで分散、共有できます。設定の変更は、すべての SIP サーバーではなく 1 箇所で行うだけで済みます。そのため、複数の SIP サーバーの保守が楽になります。SIP 設定サーバーは DMZ の中や他のファイアウォールの背後に配置することができます。

SIP を分散環境に統合する場合は、次の設問について検討してください。

- SIP サーバーをどこに配置するか。DMZ 内に配置するのか。
- どれくらいの数のユーザーがポータルにアクセスするのか。
- HTTPS を使用して SIP サーバーにアクセスするかどうか。
- 必要な数のユーザーをサポートするには、どれだけの SIP サーバーが必要か。
- Web サーバーのロード バランサを使用するかどうか。
- SIP の設定を分散、共有するかどうか。
- SIP サーバーと管理サーバーの間でファイアウォールを使用するかどうか。

### 無線環境

SIP を無線環境で実行するように設定できます。

- 次のモジュールを使用して PDA や携帯電話などでデータを表示するかどうか。
  - NNM ネットワーク デバイス ヘルスおよびアラーム モジュール
  - OVO メッセージ モジュール
  - サービス ヘルスおよびサービス カード モジュール
  - インターネット サービス モジュール
  - ブックマークおよびメッセージ ボード モジュール

## 非英語環境

SIP は、UTF-8 コードセット文字の Web ブラウザへの表示をサポートしています。

- SIP を非英語モードで実行するかどうか。

## 次のステップ

立案を続行します。以下の作業が終了したら、先へ進んでください。

- SIPPath.properties ファイルのエントリを設定して、SIP を分散環境に統合する。  
「Configuring Service Information Portal (SIP) to Work Within a Distributed Secure Environment」ホワイトペーパーを参照してください (ロードマップのタスク 10)。
- ポータルを無線環境に配置するよう SIP を設定する (ロードマップのタスク 10)。
- ブラウザの設定とその他の一般的な設定を行い、SIP を非英語環境に統合する (ロードマップのタスク 10)。

SIP 配置計画の立案  
分散環境、無線環境、非英語環境への SIP の統合